

参考資料 4

国際的動向を踏まえたオープン
サイエンスの推進に関する検討会
(第11回)
令和元年8月20日(火)

第10回 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会

議事概要(案)

1. 日 時：平成31年3月20日(水) 13:00~15:00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館11階 共用特別第1会議室

3. 出席者：(敬称略)

引原(座長)、喜連川(副座長)、家、小賀坂、川村、黒川、末吉、林、村山の各構成員、上山CSTI議員、佐藤審議官、梅澤参事官、赤池参事官

4. 議事

(1) 事務局説明

国立研究開発法人におけるデータポリシー策定ガイドラインに関する解説資料、データリポジトリ整備・運用ガイドライン、および研究データ基盤整備と国際展開ワーキンググループについて説明があった。

(2) 主な意見交換等

(国立研究開発法人におけるデータポリシー策定ガイドライン解説資料について)

○論文の根拠となっているようなエビデンスデータは公開を前提とするが、そのエビデンスデータ以外の周辺データの扱いについては大学・研究者の判断に委ねる必要がある。

○データをどの程度公開できるかは、分野などによって大きく異なるものであるため、データ公開の達成度等が機関の評価とならないよう配慮する必要がある。

○公開するデータの範囲については、研究者に配慮し、弾力的に解釈できるような記載を残すべきである。

(データリポジトリ整備・運用ガイドラインについて)

○このガイドラインを参考にデータリポジトリの整備・運用を進める各機関の実情を把握しながら、このガイドラインも適切に改訂されることが望ましい。

○リポジトリの整備・運用については、各機関における限られた予算の中で行う必要が

あるため、研究現場や大学の実情に合わせて推進することが望ましい。

（「研究データ基盤整備と国際展ワーキンググループ」の構成員追加について）

○民間企業からの知見を得るため、ワーキンググループの構成員の住友化学の後藤グループマネージャーを追加する。

5. その他

○次回日程は未定。追って連絡する。